

2015年4月6日

2015年5月期第3四半期決算補足説明資料



1. 2015年5月期第3四半期実績

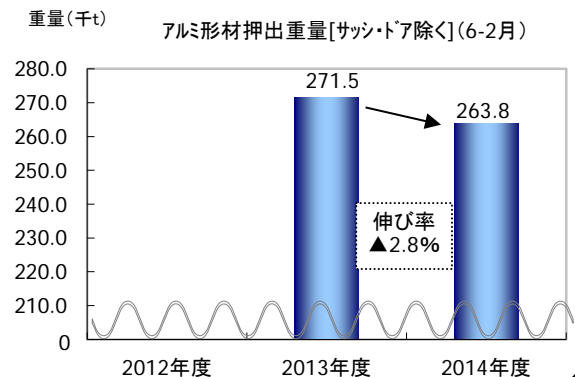
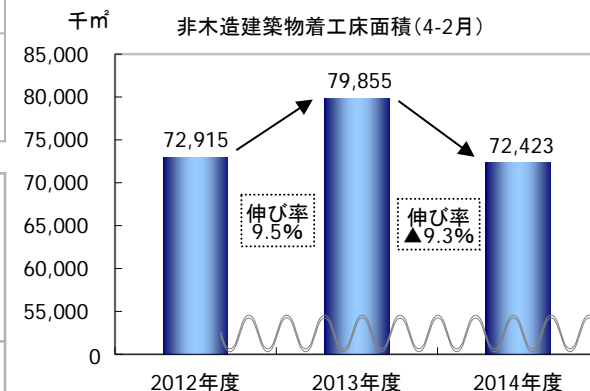
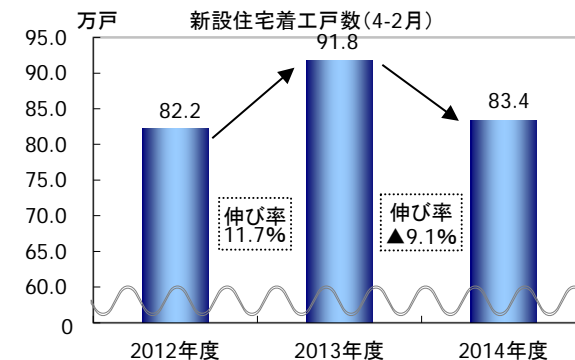
- ◆ 1-1. 事業環境
- ◆ 1-2. 経営成績
- ◆ 1-3. (前期比)売上・営業利益
- ◆ 1-4. 各セグメントの取り組み

2. トピックス

- ◆ 2-1. Aleris社押出事業譲受、ThaiMetal社の子会社化に係る手続きが完了
- ◆ 2-2. 三協アルミ「首都圏ショールーム」を開設
- ◆ 2-3. 三協マテリアル「第3回【国際】風力発電展」に出展
- ◆ 2-4. タテヤマアドバンス「薄型スタンドサイン ポススタンド」を新発売

◇市場環境

市場環境	2012年度	2013年度	2014年度
新設住宅着工戸数(4月-2月) ※建材事業（住宅）指標	82.2万戸	91.8万戸 (前年比11.7%増)	83.4万戸 (前年比9.1%減)
非木造建築物着工床面積(4月-2月) ※建材事業（ビル）指標	72,915千㎡	79,855千㎡ (前年比9.5%増)	72,423千㎡ (前年比9.3%減)
アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く] (6月-2月) ※マテリアル事業指標	※2012年度までと 連続性なし。	271.5千 t	263.8千 t (前年比2.8%減)
アルミ地金[日経平均] (6月-2月)	213.7円 /kg	238.6円/kg (前年比10.4%増)	299.9円/kg (前年比20.4%増)



政府の経済対策により公共投資が増加傾向となったものの、消費増税後の個人消費の持ち直しに力強さを欠いたことなどにより、景気は依然弱含みとなった。

建材	建材市場は、消費増税後の長引く需要反動減の影響などにより、新設住宅着工戸数の減少傾向が継続した。
マテリアル	アルミニウム型材及びビレット市場は、輸送、一般機械分野の需要が堅調に推移した。
商業施設	商業施設市場は、コンビニエンスストアなどの新規出店・改装需要が堅調に推移した。
アルミ地金	アルミ精錬会社の減産及び、世界的なアルミの需要増に加え、円安によりアルミ価格の高騰が継続した。

(単位：億円)

	2014年5月期 3Q実績	2015年5月期 3Q実績	前年同期比	
			増減	%
売上高	2,123	2,124	0	0.0%
売上総利益	551	504	△ 47	-8.6%
売上総利益率	26.0%	23.7%	-	-2.2p
営業利益	120	75	△ 44	-36.9%
営業利益率	5.7%	3.6%	-	-2.1p
経常利益	111	69	△ 42	-37.8%
当期純利益	82	59	△ 23	-28.0%

※金額・率は切り捨て表示

<売上高> 建材事業は減収となったものの、マテリアル事業、商業施設事業ともに増収となり、全体として前年同期比0.0%増となった。

・建材事業 販売網の強化、リフォーム向け商品提案による改装需要の取り込み、首都圏でのショールーム開設による販促策などを推し進めたが、新設住宅着工戸数の減少傾向が継続していることや、円安によるアルミ地金価格の高騰などにより、前年同期比4.7%減となった。

・マテリアル事業 輸送、一般機械分野の堅調な需要を積極的に取り込んだことなどにより、前年同期比16.2%増となった。

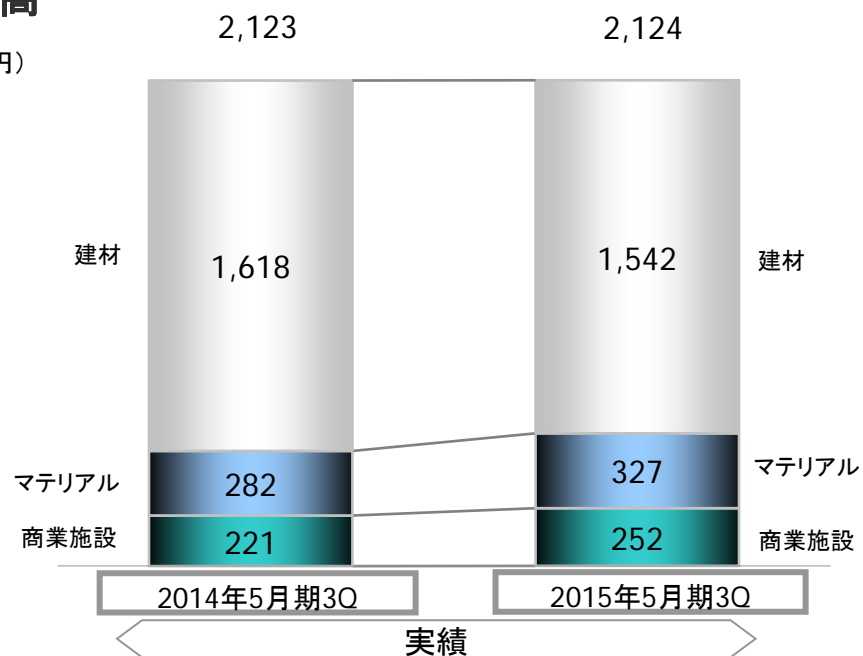
・商業施設事業 コンビニエンスストアやドラッグストアなどの専門量販店の新規出店・改装需要を積極的に取り込んだことなどにより、前年同期比14.1%増となった。

<営業利益> 新設住宅着工戸数の減少を背景とした建材事業の売上減、アルミ地金価格の上昇などにより、前年同期比36.9%減となった。

1-3. 2015年5月期3Q (前期比) 売上・営業利益

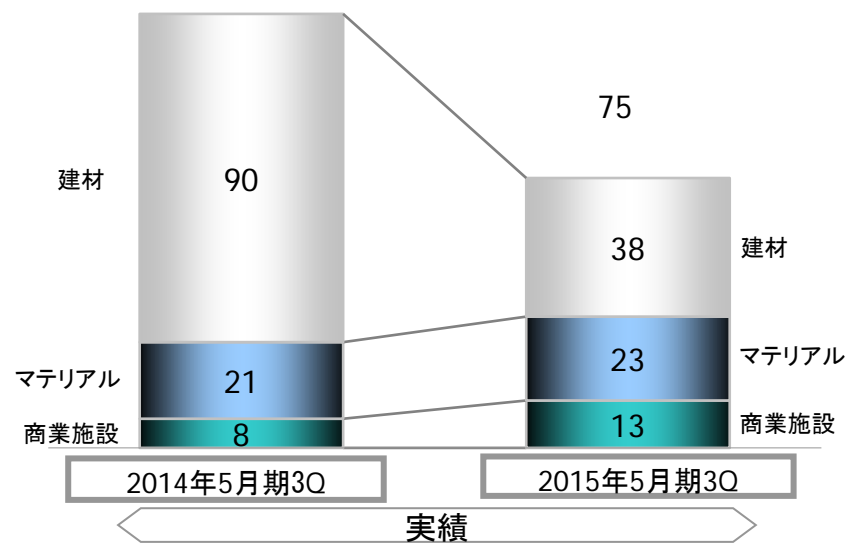
■売上高

(単位：億円)

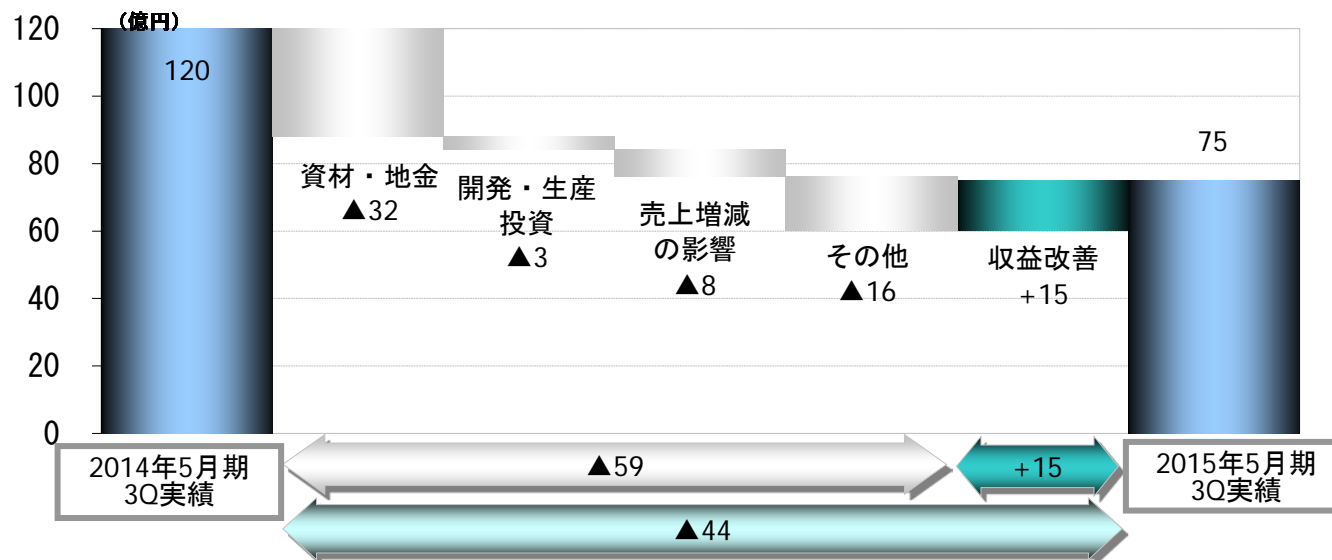


■営業利益

(単位：億円) 120



■営業利益変動内訳



※金額は切り捨て表示

1-4. 2015年5月期 各セグメントの取り組み

VISION2020に向けた施策、投資を着実に行うとともに、消費税増税や為替変動など環境変化に対して柔軟に対応し販売機会の確実な確保と、より柔軟な収益体制の確立を進める。

セグメント	項目	概要
建材事業	販売基盤の強化	エリア戦略の推進、代理店販売支援体制の強化 競争力のある商品開発
	成長分野への攻勢	改装・リフォームの提案力強化、競争力ある商品化の推進 海外での販売力強化及び商品競争力の強化、生産性向上
	原価低減の追求	ライン再構築や徹底した効率化によるコストダウンの推進
マテリアル事業	売上拡大と 基盤確立	企画・設計段階から参画する事による物件獲得の強化 チーム体制にてターゲット商品を選定したうえでの営業展開による収益向上 グループ子会社とのシナジー創出による基盤強化と売上拡大
	海外展開	早期の現地供給体制の確立を目指した取り組みと海外売上の拡大
商業施設事業	戦略強化と 事業基盤の強化	小売チェーン本部攻略を主軸とした売上拡大、新商品投入の活発化 業務の効率化とスピード化、品質向上・コスト競争力強化の継続推進
	海外事業推進	日系小売業の海外進出サポートによる信頼関係構築と国内外での商機拡大 上海生産・販売拠点活用による、北米・ASEANでの事業拡大

2015年3月1日 Aleris International, Inc.の押出事業譲受に係る手続き、および2015年3月2日 Thai Metal Aluminium Co., Ltd.の子会社化に係る手続きが完了いたしました。

これにより、当社は日本、欧州、ASEAN各地域の強みを生かした事業展開を行う基盤を整備いたしました。



Aleris International, Inc.押出事業部門の直近3年間の
経営成績及び財政状態

単位：百万ドル

決算期	2011年	2012年	2013年
総資産	—	133.1	141.8
売上高	410.3	357.4	355.2
セグメント調整後EBITDA	7.9	13.8	11.0

- 2011年の総資産は非開示のため記載しておりません。
- 押出事業に係る財務情報に関しては、Aleris International, Inc.等との契約に基づく守秘義務の対象となるため、開示できません。上記の財務情報はAlerisグループの公開情報に基づくものであり、当社が譲り受けた事業自体の財務情報ではございませんのでご注意ください。

Thai Metal Aluminium Co., Ltd.の直近3年間の
経営成績及び財政状態

単位：百万円

決算期	2011年	2012年	2013年
総資産	6,354	7,384	7,657
売上高	7,705	9,424	8,826

- 金額は2015年1月5日時点の1タイバーツ=3.6円で換算しております。
- Thai Metal Aluminium Co., Ltd.は新規設立会社のため、上表には全事業を譲渡したThai Metal Co., Ltd.の総資産及び売上高を記載しています。尚、利益に関する情報については、Thai Metal Co., Ltd.との契約に基づく守秘義務の対象となること及び当社の連結子会社となった後の日本会計基準での数値と異なる可能性があることから、開示をしておりません。

※ Aleris International, Inc.の押出事業譲受、Thai Metal Aluminium Co., Ltd.の子会社化に関わる借入による資金調達完了しております。

2-2. 三協アルミ「首都圏ショウルーム」を開設



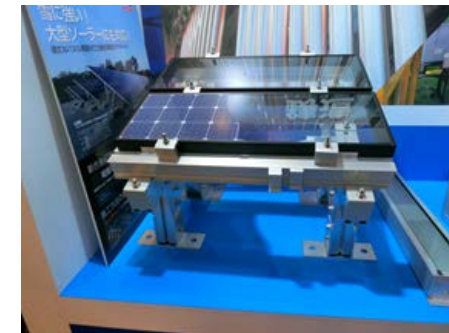
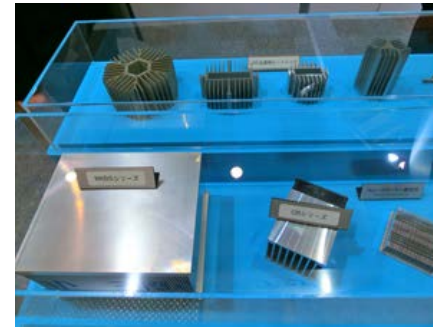
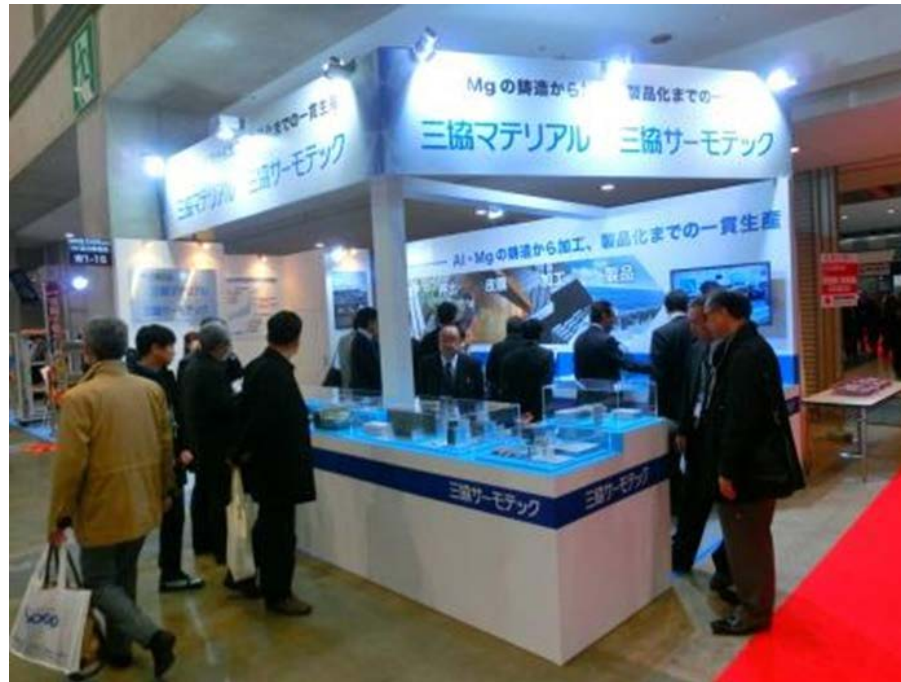
【首都圏ショウルーム】
住所：東京都新宿区西新宿3-6-11
西新宿KSビル9階
展示面積：約600㎡
展示品：住宅用サッシ129点、玄関ドア89点
室内建材55点、エクステリア商品18点 など
開設：2015年2月6日
※当社のショウルームは全国で6ヶ所となりました。



首都圏ショウルームは、採風、光、熱など7つの視点で家づくりを学べる「学びゾーン」や窓選びのポイントを学べる「塾ゾーン」などで構成されており、「窓」と「ドア」の役割を楽しみながら体験し学ぶことができます。工務店、代理店、販売店様にお施主様とともにご来場いただき、商品の現物確認の場として、打合せの場としてご利用いただいております。

WIND EXPO 2015 第3回【国際】風力発電展に出展

三協マテリアル社および三協サーモテックが「ヒートシンク」
「風力発電ブレード」、太陽光発電パネル用架台「サンステージ」を展示



◆【国際】風力発電展

日本最大の風力発電の国際展であり、部材、装置、関連サービスから風車まで、世界の有力企業が風力発電システムに関するあらゆる製品・技術を出展。

同時開催の8展示会と合わせて3日間で約72,000名が来場。

屋外設置が可能な定型ポスターサイズ対応の薄型スタンドサイン

——フィルム、紙など多彩なメディアの使用が可能

光源に新設計のエッジ式LEDを採用した内照式アルミスタンドサイン。表示面は定型ポスターサイズ（B1,A1,B2）に対応した3タイプをラインナップ。



【本資料に関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、三協立山株式会社及び連結子会社(以下、総称して「三協立山グループ」という)の計画、戦略、業績などの将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、現時点での入手可能な情報から得られた三協立山グループの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により三協立山グループの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、三協立山グループが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性及びその他の要因としては、三協立山グループの事業領域を取り巻く経済情勢、三協立山グループの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化、アルミ地金等の価格変動が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

本資料の複製・転載はお断りします。